

2・安心・安全で住みやすいまちづくり（交通関連）

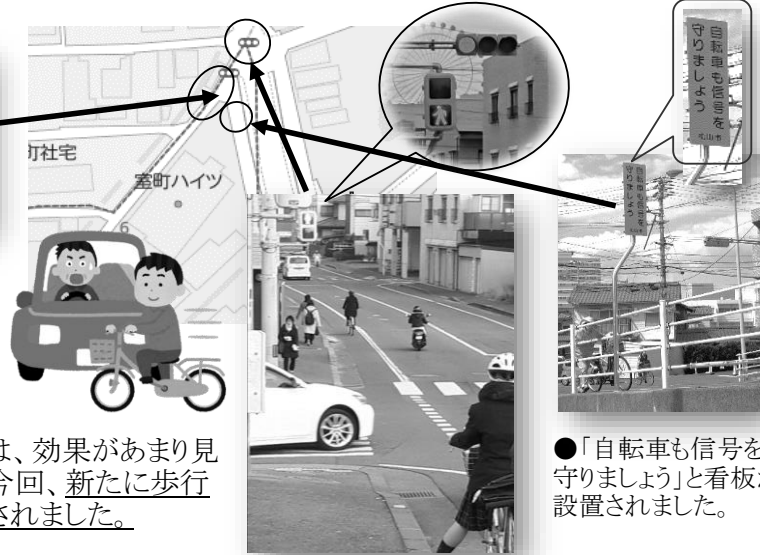


1点目：末広橋から県病院に向けての下り坂は、自転車などがスピードを出して降りてきて、交差点で衝突事故が起こりやすくて危険。

2018年にご意見をいただき、警察や市の職員に現状を見ていただき、地域の方とも協議を重ねました。



●路面表示(自転車注意喚起)などの対策が実施されました。



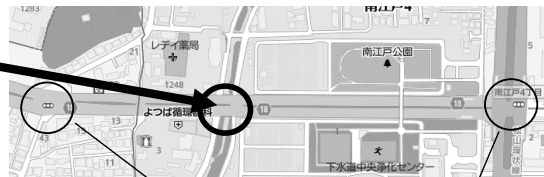
●路面標示だけでは、効果があり見られなかったため、今回、新たに歩行者用信号機が設置されました。

●「自転車も信号を守りましょう」と看板が設置されました。



2点目：新空港通りの南江戸公園付近は、近くに信号がなく、遠回りも面倒なため、松ノ本橋のところを、歩行者も車も横断しています。

信号機のないところを横断する自動車や人が多く、関係部署などに相談した結果、信号機をつけていただけることになりました(2020年1月現在工事中)。



この間、信号機がありません

地域の皆さんの声は、地域を住みやすくするための源泉です。お気づきの点や、困っていることがございましたら、私にお声かけください。



3・観光客増加で松山を元気に！

◆松山市と台湾・台北市の交流を深め、両市の活性化を

本市と台北市は、平成26年10月に友好交流協定を締結し、これまで観光、文化・スポーツ、青少年、経済分野で交流を進めてきました。

令和元年10月に協定調印から5周年を迎えたこと、同7月に松山と台北を結ぶ定期便が就航したことを記念し、台北市で記念イベントが開催されました。



両市の交流をさらに拡大し、観光振興を進めるために、令和元年11月に、松山市長や松山市議、道後伊佐爾波・湯神社八町会(250名程度)ほか、計約300名程度が、台北市を訪問しました。



	台湾からの宿泊客 推定数
平成26年	22,200人
平成27年	36,000人
平成28年	43,300人
平成29年	57,600人
平成30年	58,100人

台湾からの観光客がもっと増えるように、松山市の魅力をもっとPRしてきました。

◆ダイヤモンド・プリンセスの寄港について

昨年5月と6月に、ダイヤモンド・クルーズ社所属のクルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」が松山港に初寄港しました。

その際には、お茶席や浴衣の着つけなど、日本文化の体験交流や、虎舞や盆踊りなど伝統芸能の演出、愛媛・松山の物産販売のほか、市民ボランティアの皆さんにも参加いただき、「おもてなし」をし、乗客乗員約3,800人に、松山市の魅力を発信しました。

今年4回の寄港が予定されておりましたが、3月の寄港は中止となりました。5月以降につきましては、今後の状況により、変更になる場合があります。

ダイヤモンド・プリンセス

